

科目名	造形表現Ⅳ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 選択				
授業概要 造形表現Ⅲで習得して来たことを基にその幅を広げ、実践的に内容をふかめていく。身近にある物を利用して造形表現に必要な体験を蓄積し、創造する喜びを会得し、技術や知識を実践に役立てていく。							
到達目標 異なる表現手段との共同表現に効果的な、造形表現の可能性を探りながら、自由な発想の基、様々な表現方法を理解し、造形表現を体験する。				成績評価方法 提出された作品、レポート、演習の振り返りシートによる総合評価。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		15
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			25
演習	○	○	○	○	○	○	20
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 造形表現活動①				グループワーク			
素材研究、造形物の役割分担、材料探し				小レポート			
2) 造形表現活動②				グループワーク			
制作							
3) 造形表現活動③				グループワーク			
制作							
4) 造形表現活動④				グループワーク			
制作							
5) 造形表現活動⑤				グループワーク			
発表				レポート			
6) 動くおもちゃ①				個人ワーク			
仕組みのあれこれ／構造を考え、応用させ、制作の計画を立てる							

7) 動くおもちゃ② 制作	個人ワーク
8) 動くおもちゃ③ 制作、発表	個人ワーク 作品提出
9) 型染め① 型紙の図案を考える	個人ワーク
10) 型染め② 型を切る	個人ワーク
11) 型染め③ ティシャツに柄を染める	個人ワーク 作品提出
12) 焼き杉木工① 木取り図、展開図を作り	個人ワーク
13) 焼き杉木工② 糸ノコギリで切る	個人ワーク
14) 焼き杉木工③ ガスバーナーで焼く、仕上げのサンディングまで	個人ワーク 作品提出
15) 見えないものとの対話 まとめ	レポート
授業外学習	
<p>授業内で必要なものに関しては、前回にアナウンスをする。持参物・服装などの準備が整わず、授業時間を無駄にしないよう、授業前準備をしっかりとすること。</p> <p>やむを得ず欠席した場合は、次回授業に支障がないよう各自で情報を集め、準備をすること。また、抜けた課題は空き時間で行い、遅れを取り戻すこと。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新造形表現＜実技編＞」花篤實他著（三晃書房） その他：配布プリント	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ
備考	
汚れても構わない服装で授業に臨むこと。 【オフィスアワー】原井 輝明 harai@ube-c.ac.jp	